

こんにちは 豊前市議会です



(岩屋地区・執行部・市議会との意見交換会)



3月定例会(3/4~3/20)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2~4P
平成31年3月定例会 議案審議結果	5P
一般質問	6~12P
その他	13P
トピックス・編集後記	14P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成31年第1回定例会は、3月4日から3月20日までの17日間の会期で開催されました。本定例会には、市長より議案20件が提出されました。所管の常任委員会で慎重に審査した結果、すべて原案どおり可決されました。

また、市長より同意案件1件が提出され、市長提案のとおり同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■監査委員

豊前市大字山内
初山 吉治

選挙関係

京築地区水道企業団議会議員に欠員が生じたため、推薦により選出しました。(敬称略)

■京築地区水道企業団議会議員

豊前市大字八屋
磯永 優二

文教厚生委員会で 中央公民館 耐震診断結果の報告

耐震改修促進法等では耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断されます。よって、耐震診断の結果、耐震指標が0.6(建物は、震度6強程度の大地震に対しても、建物が倒壊や崩壊する危険性は低いと考えられている。)を上回る為、中央公民館は地震に対して「安全である」と報告を受けました。

*ここでの「安全である」とは、「建物が地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」ことを指し、建物が損傷をうけないということではありません。

平成31年度一般会計の主な増額の要因 投資的経費 防災行政無線整備事業

現状のシステムでは、屋外放送が主流となるため、風向きや局同士が干渉するほか、天候により放送が聞こえにくい、全く聞こえないこと等が、整備当初からの課題でありました。

この解消策としてスピーカーの角度調整等の対策を実施しましたが、根本的な改善となっておらず、課題改善のため、様々なシステム形態の中から、280MHz帯の戸別受信機導入を決定いたしました。戸別受信機の有益性につきまして、電波の出力が強く、浸透性に優れていて、山間部はもちろん、建物内にも届きやすいことが大きな特徴としてあげられます。

今後の戸別受信機設備導入にあたり、平成30年度において戸別受信機設備の整備に伴う、電波塔の設置費用、システム構築費用、戸別受信機導入費用等の全体実施設計が行われています。

今回、上記の実施計画に基づく設備を整備するため、平成31年度において、防災行政無線設備にかかる経費が計上されました。

一部事務組合議会議員

組合名	定数	議員名	構成団体
京築地区水道企業団	3人	黒江 哲文 鎌田 晃二 磯永 優二	豊前市・行橋市 苅田町・みやこ町 築上町・吉富町 上毛町

常任委員会で
4日間慎重審査

過去最高!!
当初予算

一般会計予算 総額124億2240万円

3月定例会では、各委員会で「平成31年度一般会計当初予算」の審査を行いました。
委員会は3月14・15・18・19日の4日間開催され、予算細部にわたって市側に質問や指摘などを行いました。

平成31年度一般会計当初予算の概要

《一般会計予算》

124億2240万円 [対前年度+10億2350万円(+9.0%)]

《増額の主な要因》

1. 投資的経費(防災行政無線整備事業、し尿等前処理施設整備事業の増)
6億8287万円
2. 積立金(公共施設等整備基金積立金、ふるさとづくり応援基金積立金の増)
1億8710万円
3. 人件費(退職手当の増)
1億2346万円
4. 物件費(電算システムリース料、ふるさと納税受付等業務委託料の増)
1億1721万円

【直近5カ年の本市一般会計当初予算の対前年度伸び率】

H27	H28	H29	H30	H31
+1.5%	+2.4%	▲4.4%	▲1.8%	+9.0%

常任委員会で慎重審査し 申し入れをしました。

文教厚生委員会申し入れ事項

◎ 議案第4号について

豊前市国民健康保険税条例の一部改正については、国保税の増税にかかわる子育て世帯に対して、十分な支援をしていただくこと。また、増え続けることが予測される国保税の抑制のため、国保運営の健全化に向けた取り組みについても提示すること。

以上、申し入れました。

産業建設委員会申し入れ事項

◎ 予算編成においては、安易にカットせず、事業の検証と見直しを常に心がけ、市民が望んでいる事案に対応できるよう。

◎ すべての事業において、目標と期限を設け、計画を策定するよう。

◎ 公営企業会計の健全化に向け、さらなる努力をお願いする。

以上、申し入れました。

総務委員会申し入れ事項

◎ 議案第16号について

市営駐車場用備品は、既存の設備の活用方法を再度考え、また、管理運営体制も同様に、経費削減ができるよう努めるように。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

総務委員会	古川哲也・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・福井昌文・尾澤満治
文教厚生委員会	福井昌文・秋成英人・為藤直美・内丸伸一・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖
産業建設委員会	黒江哲文・郡司掛八千代・為藤直美・平田精一・鎌田晃二・爪丸裕和・磯永優二
議会運営委員会	鎌田晃二・為藤直美・黒江哲文・平田精一・福井昌文・古川哲也

平成31年3月定例会 議案審議結果

〔○〕……………賛成 〔●〕……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第1号	豊前市区長、副区長及び組長設置条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第2号	特別職の職員で非常勤のものうち区長、副区長及び組長の報酬の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第3号	豊前市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第4号	豊前市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第5号	豊前市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第6号	豊前市公共施設等整備基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第7号	指定管理者の指定について（豊前市老人福祉センター）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	議長	11	0
議案第8号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第9号	辺地総合整備計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第10号	平成30年度豊前市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第11号	平成30年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第12号	平成31年度豊前市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第13号	平成31年度豊前市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第14号	平成31年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第15号	平成31年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第16号	平成31年度豊前市営駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第17号	平成31年度豊前市バス事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第18号	平成31年度豊前市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第19号	平成31年度豊前市公共下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第20号	平成31年度豊前市東部地区工業用水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第1号	豊前市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

- 【質問項目】
- ① 火災及び災害対策
 - ② 文化施設
 - ③ 環境関連施設
 - ④ 魅力あふれる豊前市づくり
(黒江哲文議員)
 - ⑤ 教育問題
(平田精一議員)
 - ⑥ 防災
 - ⑦ 財政問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

特色・魅力ある文化施設づくりを

内丸議員 文化施設について、平成29年6月議会で質問したが、質問以降、進展はあったのかなど現況をお尋ねする。

教育部長 いま一番財源が問題となっているので、財源についての検討、また施設の複合化などについて内部で検討してきたが、現在、具体的な建設計画までは至っていない状況だ。

内丸議員 財源等の問題はあるが、文化施設の建設がなかなか前向きに進んでいかない、すぐに取れない理由等、ちゃんと分析しているか。

教育部長 現在、豊前市では、し尿処理施設、戸別受信機の整備、また庁舎の耐震改修など、大きな予算を要する事業を抱えており、現段階では文化施設の建設に要する財源の確保について、見通しが立てられないという状況である。

内丸議員 建設するならば、私の個人的考えでは、文化会館や市庁舎、商業施設、保育所や老人福祉施設、病院等、赤ちゃんからお年寄りまで皆が集える複合施設を建設できればと考えている。財源として、国からどのような補助金を貰えるかを研究し、クラウドファンディングやPFI事業を利用できないかなど、まだまだ考える余地がたくさんあると思うがいかがか。

教育部長 施設の複合化については、他地区の施設も参考にしたいと考えている。それから国の財源を含めて、どのような財源があるか、PFI事業については、昨年9月に関係団体主催の研修会に参加し、10月に庁内の関係課含め専門家の方に来ていただいて勉強会を行ったところである。また、クラウドファン

ディングについても、銀行等から提案があり検討しているが、なかなか文化施設の建設とクラウドファンディングは、うまくマッチングしないのではないかと、いうところも含めて、現在勉強させていただいている。

内丸議員 財源がなく、当分の間は建設のめどが立たないということは、逆に言えばどのような施設をつくるのか、考える時間がたくさんあるということだ。いろいろな人々が知恵を出し合い、よそに負けない施設をつくり、この施設でしか見られない、豊前市に行かなければ見られない特色ある企画を考え、豊前市を盛り上げていくためにも、ぜひとも建設を前向きに検討していただきたい。



市民の声を大切に

黒江議員 魅力ある豊前市づくりということ、市民サービスの現状、市民の声をしっかり行政は吸い上げているか何う。放課後児童クラブに関して宇島小学校で、3年生から待機になっているがその理由をお尋ねする。

福祉課長 1、2年生で定員になり、3年生についても定員オーバーする予定であるが、可能な限り受け入れている。

黒江議員 学校まで毎日送迎を必要とする児童や不安症状により高学年になっても一人で自宅で過ごすことができない児童もいる。このような児童が放

課後児童クラブを利用してきない場合、保護者は仕事を辞めなくてはいけないのか。問題は豊前市にいる児童が、不平等になっていることだと思いがいがか。

市民福祉部長 待機を強いられているご家族にとつては深刻な事態だと思つたので、早急に対策を考えたい。

黒江議員 次に、配食サービスについて、同居と判断されて申請ができなくて困つたという声が寄せられているが、利用できないのかお尋ねする。

健康長寿推進課長 配食サービスには対象者の基準があるが、同居であるかどうかの基準ということかと思う。そこについては、実態をよく調査して判断させていたきたいと思う。

黒江議員 そういう考え方がどうかと思う。食事が作れない事情、市民の困つた時のサービスである。いろんな要綱等にも市長の判断等ということがある。その辺を臨機応変、現場のニーズに合わせることも重要だと思つた。

次に、死亡手続きについ

て、やはり、通夜・葬儀の時間をいち早く決めることが求められると思つたが、この手順で、豊前市は段取りが悪いという声がある。火葬の仮予約ができればすぐにお寺さんと話をして時間を決められる。この対応はすぐに行けると思つたが、その考えを聞きたい。

市民福祉部長 近隣によってはファックスで受付しているところ、また、アプリを使って予約ができるところもある。経費の面等踏まえて、早急に協議したい。

黒江議員 厳しい財政の中で、そういった費用のかららないサービスすら行政が積極的にやらない、検討するというのはおかしい話だと思つた。魅力ある豊前市づくりで、市民の声をテーマにしたが、やはり、魅力あるかないかは市民が決め、そして魅力あるまちには人が集まってくると思つた。そのような行政業務をやっていたら、ぜひ成果を上げよう期待したい。

財政問題

覚悟をもって

平田議員 31年度予算が、124億2240万円、前年度対比9%増とされているが、その中には、防災行政無線戸別受信機整備やし尿前処理施設整備などが入っているとはいえず、このままでは将来的に財政面がもつのか心配だ。現在、財政で大きな負担になっている事業は何か。

その計画がなされているが、その財源はどうするのかが、緊急防災・減災事業という起債事業を充てているところである。

総務部長 まず、義務的経費が増大している。人件費・扶助費・公債費等増高傾向にある。それと、繰出金の増である。バス事業、国保、後期高齢者、高齢化の中でそういう事業に対する繰出金が増えている。また、中学校の維持管理費、特に光熱費等が、ここ数年、増高傾向にある。今後の大型事業としては、庁舎の耐震改修や総合文化施設の建設等が大きな負担になると考えている。

平田議員 伊良原ダムも完成した。責任水量も増えて上下水道の財源も非常に厳しいところもあるが、今後は大丈夫か。

上下水道課長 収入増対策としては、31年度からし尿等の希釈水の利用で、使用料金の増収等が期待できる。また、支出のほうは、責任水量についても企業団の中でしっかり協議し、量の検討をすることで更なる受水費の削減を目指したい。それに加え、改正水道法の施行に伴い、事業の広域化・共同化を企業団を中心に積極的に検討して収支の改善を少しでも進めていきたいと考えている。

平田議員 あと、市営バス

は必ず赤字だ。後期高齢者が増える中で、やはり後期高齢者というのは、100円にするべきだ。免許証を返納と言いつながら、片道4,500円もかかったら返納しないと思つたがいがか。

市民福祉部長 このままいつまでも路線を走らせていのか、デマンドタクシー等への切り替えも、腰を据えて検討する時期にきているので、来年度以降、地域公共交通会議で議論していきたい。

平田議員 やはり今後、厳しいことを言うようだが、財源確保をしながら事業をやつていかないといけない。もちろん国から県からお金を引っ張ってくることは大事だと思つたが国のほうも財源圧迫で厳しくなっている。地方自治体が、赤字再建団体になつたら終わりというくらいに覚悟をもってやっていたらいい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 住民サービスの向上
- ② 子育て施策
- ③ 外国人労働者の生活支援
- ④ ジビエ施設と協力隊

(福井昌文議員)

- ⑤ 住民サービス
- ⑥ 教育問題
- ⑦ 人口増対策

(鎌田晃二議員)

- ⑧ 学校教育の国際化に向けた取り組み
- ⑨ 災害対策

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

証明書のコンビニ発行で 住民の利便性の向上を

秋成議員 住民票や他の証明書類は、市役所の開庁時間に来庁し受け取らなければならない。仕事をしている方々にとって

は、開庁時の来庁は難しく、代理人に依頼することや郵送することも可能であるが、手続きが煩雑である。そのような中、行橋市、みやこ町に続き、お隣の上毛町では来年1月

から証明書のコンビニ発行を開始すると発表があった。そこで、上毛町が証明書発行事業を行うに当り、どのような努力、手続きを行ったか伺いたい。

市民福祉部長 上毛町の担当に電話で確認したが、他の自治体と同じような手続き、手順をした程度で特段努力はしていないと返答があった。ただ、導入に係る事務手続きは住民サービスが増えるので業務

は増加しているという話もあった。

秋成議員 今後の事業取り組み予定、方向性について伺いたい。

市民福祉部長 コンビニ交付のためには、マイナンバーカードが必要であるが、豊前市は平成30年12月1日現在、交付率が9.6%に留まっている。非常に便利なサービスとは思いますが、マイナンバーカードの普及率が他市町村に比べて低いこと、導入費用も初期投資の電算システム構築に約4千万円、年間のシステム保守費用も約300万円、その他運営負担金も年間約200万円かかることが予測される。よって、費用対効果の面でも検討を行いたい。

秋成議員 豊前市の財政で、新たな事業を取り組むことで負担が増えるかもしれないが、現役世代

や働いている方たちの利便性を考えると、価値のある事業だと思う。また、自治体格差が広がると、これから自宅を構えようとする若い世代の方々は、住民サービスが充実しているまちに住みたいと思っても不思議ではない。人口流出を食い止めるためにも利便性の面で近隣自治体に後れをとるのは、得策ではないと考える。そこで、市長の考えをお尋ねする。

市長 部長から答弁のあったように、4千数百万円のお金をかけて取り組むことが、今の豊前の財政上、本当に出来るか。更に先行してコンビニ収納を導入した近隣地域のマイナンバーカードの普及率が増えたか調査をし、今後、検討しなければと思っている。

秋成議員 豊前市の財政で、新たな事業を取り組むことで負担が増えるかもしれないが、現役世代

や働いている方たちの利便性を考えると、価値のある事業だと思う。また、自治体格差が広がると、これから自宅を構えようとする若い世代の方々は、住民サービスが充実しているまちに住みたいと思っても不思議ではない。人口流出を食い止めるためにも利便性の面で近隣自治体に後れをとるのは、得策ではないと考える。そこで、市長の考えをお尋ねする。

市長 部長から答弁のあったように、4千数百万円のお金をかけて取り組むことが、今の豊前の財政上、本当に出来るか。更に先行してコンビニ収納を導入した近隣地域のマイナンバーカードの普及率が増えたか調査をし、今後、検討しなければと思っている。



ICT環境の整備で 教育内容の充実を

福井議員 2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で7つの目標が挙がっている。1番目学習者用コンピューター、2番目指導者用コンピューター、3番目大型掲示装置・実物投影機、4番目超高速インターネット及び無線LAN、5番目統合型校務支援システム、6番目ICT支援員、7番目その他になっている。この中で、特に必要なもの、不足しているものについてお尋ねする。

ICT支援員の配置である。統合型校務支援システムは、児童生徒の成績の処理、通知表の作成、教案や時間割の作成、指導要録の管理、児童生徒の出欠の管理や学級通信などの作成、その他各種報告書等の業務をシステムで一括管理することである。また、ICT支援員の配置は、ICT教育の周辺機器として整備したものを活用するため、専門的な知識や技能のある方を外部スタッフとして雇用することである。文部科学省の目標では、4校に1名の配置になっており、実現されればICT教育の推進が一層図られると考える。

福井議員 導入・配置により、子どもと向き合える時間が増え、いじめや登校拒否等の解決の一助になるのでは。

教育長 教員の多忙化を防ぐことで、先生方が児童・生徒と向き合う時間を確保することになる。これは、児童・生徒指導を充実させ、学習指導を充実させることになり、大切なことだと思う。また、校務支援システムは、築上町・上毛町・吉富町と一緒に導入するにあたり、どのようなシステムが適切か、どのような整備が必要か、共同で作業等を進めるように考えている。

福井議員 校務支援システムは、先生が取り扱う機器であるので、是非、先生に1台確保して頂きたい。

最後になるが、財政状況が厳しいときだが、他の自治体と、子どもに対する教育格差が生じないよう、今後の取り組みに期待する。

備えあれば憂いなし 万全な防災対策を

鎌田議員 東北の大震災から8年を迎え、想定外がないよう備えをしておかねばと改めて思った。そこで、地区の防災計画についてお伺いする。従来から国の防災計画があり、自治体が生きてる地域防災計画などがある。それに加え、平成25年の災害対策基本法の改正で、町会・自治会やマンションの管理組合などの地域の避難方法など自ら立案する地区防災計画が、創設された。豊前市では、各地域で防災組織を立ち上げており、自治体が生きてる地域防災計画の延長だと思うが、これが26年に導入された地区防災計画の制度に当たるのか、お尋ねする。

を実施した。このときに、自助・共助の推進や避難場所、避難訓練等の内容を明記した地区の防災計画を作成している。現在は、この1地区だけであるが、自主防災組織の育成、自主的な防災訓練の活動支援を行いながら、地区防災計画の策定などの推進・充実を図っていきたい。

鎌田議員 災害時には、初期段階、避難場所に飲料を確保することが重要である。近年、飲料自動販売機の中には、被害時に被災者に対して無料で飲料を提供する災害支援型自動販売機があり、各地方自治体において、災害時に被災者に飲料を提供することを目的に、飲料メーカーと災害支援協定を結んでいるところもある。中でも、東日本大地震の経験から生まれた、災害対応型紙コップ式自動販売機は、災害時に湯・水、特にお湯が無料で提供できるため、赤ちゃんの粉ミルクの調整や、アルファ米の調整等において大きなメリットがあると言われている。そこで、本市においても、災害時に避難所や病院等において、お湯・飲料を提供出来る、この自動販売機の設置、災害協定の締結の検討がされているのか、お伺いする。

総務部長 設置はなく、今後設置が出来る業者と協議を行っていく。

鎌田議員 一人では避難できない高齢者・障がい者等の避難行動要支援者をどう守っていくのか、施策・計画を立て、また、こどもの頃から防災意識を高めるためにも、子ども防災手帳を、是非作成して欲しい。

過去の教訓を胸に防災意識の向上、その備えを全力で取り組んでいただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 子どもの教育環境
- ② 女性にやさしいまちづくり
- ③ H30年度一般質問のその後

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 豊前市近未来の街づくり

【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 食と健康の連鎖と関連、対策方法
- ② 児童・生徒の減少に伴うこれからの学校運営のあり方

【質問項目】

(尾澤満治議員)

- ① 豊前市の人口減問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

子どもの

教育環境について



為藤 直美

為藤議員 放課後児童クラブの地域ごとの待機児童数について伺う。

福祉課長 平成30年度は29人の待機児童が発生し、八屋5人、宇島5人、三毛門3人、黒土10人、千束6人。平成31年度は、33人の待機児童が発生する見込みで八屋10人、宇島11人、三毛門5人、黒土7人である。

為藤議員 働く保護者からすると月に一人6000円は、決して安くはない金額であるが、預けないと安心して働けない保護者が申込をしている。待機児童が増えている原因と今後の対応について伺いたい。

市民福祉部長 年々入所率が上がっている中で、待

機児童の解消に向けた場所の確保が欠かせない。今後は、学校に限らず、近隣の公共施設も視野にいれ、様々な角度から関係者と協議を進めたい。

為藤議員 ぜひ、困っている家庭の子どもを一人でもフォローし、学童の待機児童を少なくする努力を早急にお願したい。

次に、児童・生徒数は減少傾向が加速している中、校舎の老朽化による整備、洋式トイレの対応、教職員の配置等、子どもの大切な義務教育期間の環境づくりとして、十分な対応ができるのか懸念される。これについて、考えを伺いたい。

教育部長 市内の学校の設置状況を今後どのように維持していくのかということだが、学校規模の適正化について議論する時期にきていると考える。

為藤議員 豊前市にとって大切な子どもたちの教育

環境を整えるのは、今いる大人である。今後、豊前市の子どもたちが目指す外国語教育、ICT教育、そして教育環境について、教育長に伺う。

教育長 改めて通学区域審議会を開き、現状分析の上、英語教育やICT教育の充実等、これからの教育の方向性に応えうる教育を充実させていくこと、さらに人口減少が想定される豊前市における持続可能な教育環境の具現化とはどうあるべきか、考えていかねばならない。

為藤議員 目まぐるしい時代の変化の中、元気で明るい豊前市であるため、知恵を出し、汗をかき、愛いっばいで子どもたちの支援に力を注ぎ、教育現場の先を見据えた良い環境づくりをお願いしたい。



今後の学校運営のあり方は？



郡司掛 八千代

郡司掛議員 近年、出生数が減少しているが、児童の模の適正化については、どう考えているか？

教育部長 急速に人口減少が進むことに伴い、児童や生徒数も減少していく状況なので、今後、市内小中学校の学校規模の適正化に向け議論を進めていく。

教育長 30年度現在、市内の小學生は10校で1250名ほど、中学生が4校で500名弱である。小学校については、数年後には、5校で複式が心配される状況であり、中学校においては充実した教科指導や部活動実施の上で、文科省が言う学校の適正規模に当てはまらない状況にある。

市長 人口の急減する中、このままの学校運営がいいのかどうか、非常に厳しい状況にきている。

郡司掛議員 これからの教育の大変さを伺った。では、豊前市の小中学校に関する運営費について伺いたい。

学校教育課長 平成29年度決算では、光熱水費は小学校で3289万2335円、中学校では1443万507円、修繕料は、小学校で1683万205円、中学校で732万9831円である。

郡司掛議員 学校の生徒数は激変傾向にある中、人口減少にも歯止めがかからず、維持管理費は老朽化のため増大し、多額の出費が将来にわたり負担になってくるのではないか。また、保護者の教育の負担額は年々増額傾向だが、小中学校への教育に関する未来像は？

教育長 「児童生徒が行きたい、保護者から見て行かせたい」という学校づくりを目指し、指導しているところだ。その中で、出生数の減少は特に深刻な課題である。今後の状況を考えれば、小中学校あわせて早急に議論していく必要がある。将来に先送りできない問題だと認識している。

郡司掛議員 市では、住民減少のため、地区の再編が行なわれているが、学校においても、生徒数減少には歯止めがかからない所まできている。学校も地域と身近な関係があるため、再編には長期にわたり時間が必要だと思いが、喫緊の課題でもある。最新の情報を理解してもらい、市民一人一人に協力を仰ぎ、将来を見据えなければならぬ時期が到来している。情報を各課ともに共有し、議会、市民を巻き込んで討議し、改革を推し進めるような環境づくりをお願いしたい。

観光協会と

市民会館について



古川 哲也

古川議員 観光協会について、昨日の一般質問の答弁の中で、来場者700%増、売上は500%以上の増だが、どれくらいの人数が来場されたのか。

観光物産課長 昨年の12月から、観光協会が宇島駅構内に入った。ことしの2月で比べると、来客数は前年が97人で今年が680人、特産品の売上が、前年が3万4600円で、今年度が17万7800円ということ、利用で7倍、売上で5倍になっている。

古川議員 新聞や雑誌等、置けなかった理由について伺いたい。

産業建設部長 現在の場所を借りるにあたりJRR九州と協議をさせていただ

き、地域の特産品をPRする業務の傍ら希望者の方にお譲りするという販売形態を取らせていただいている。営業活動については、家賃が高くなるため、現在の形態を取っている。

古川議員 観光情報を取得するため、M-Tyを設置することで、利便性が上がるのではないのか。

産業建設部長 現在、観光協会で、フリーミーアの設置について検討している。今後、市としても前向きに取り組んでいきたい。

古川議員 次に市民会館は、昭和38年の建物で、非常に使い勝手が悪くなっている。今後、建て直す意向なのか、または、現存するものを改装しようと思っ

ているのか、考えを伺いたい。

教育部長 文化施設について、財源等の見通しが立たない中、寄附等、御厚意をいただきながら、期待に

えられない状況で、非常に心苦しく思っている。建替えには、例えば今から取りかかったとしても、3年、5年の期間がかかる。今の施設に必要な改修等を行いながら使用していくようになる。

古川議員 市長の所信で文化施設振興については、「市民会館・多目的交流文化センターが指定管理となり、民間の活力で、さらに、充実した芸術・文化活動の推進が期待されます。」と述べている。運営は指定管理者だが、ハード面があんなかただと、充実した推進が期待されないと思うがいかがか。

市長 市民が演ずる場所として、ハードの整備は本当に望ましい。議会や地域の皆さんとしっかり協議しながら進めていきたい。

古川議員 ぜひ一丸となつて、市民会館の新しいものを市民に提供して頂ければありがたいと思う。

空き家対策と 終活について



尾澤 満治

尾澤議員 空き家対策について、これから5年、10年後の空き家がどれくらいになるのか。また、その対策をどう考えているのか。

市民福祉部長 空き家の件数は、平成30年4月現在で632軒となっている。5年後、10年後の先を見た時、今後空き家が増える予想はしている。これまで行ってきた空き家バンク、それから解体の補助金制度、また固定資産税の減免の制度の周知を図りながら、今後も引き続き空き家の利活用及び除却を推進していきたいと考えている。

尾澤議員 半壊等の危険家屋に対する陳情があると思うが、立ち入り調査、

指導等は、どれくらい行っているのか。

生活環境課長 危険家屋の指導について、所有者、関係者から、年間約40件相談があり、危険家屋解体や所有者を特定するのが難しいとか、分かっているけど対処出来ないとか、お金がないとか難題にぶつかっている。補助金制度や税の減免等、周知をしていき、また、税務課と協議し、納付書に文書を入れてもらうとか、いま以上の対応を取りたいと考えている。

尾澤議員 空き家バンクで、売買できてない分はどうしているのか。いろいろな方と相談したり、業者さんとかにアドバイス等をいただいたりしているのか。

総合政策課長 登録物件については、一旦登録をさせていただき、更新の際には、当然状況等も確認している。民間企業のリノベーション等手掛ける業者等の参入

も取り入れ、業者のアドバイス、ご意見等もいただき、活用・PRができるか検討していきたいと考えている。

尾澤議員 次に、終活について、お尋ねする。エンディングノートには、自分・財産・お墓・葬儀のやり方など、大切なことの記入ができる。市内で、終活講座を行ったのか伺いたい。

人権男女共同参画室長 終活セミナーについては、豊前市人権センターの方で今年開催した。終活カウンセラーの方を講師に迎えて、エンディングノートを活用して、終活の概略や取り組み方などの理解を図っている。実施は、合河・宇島・山田・三毛門の4箇所の公民館で合計130名の方の参加があった。来年度も岩屋・八屋・角田・千束公民館の4箇所で終活講座を実施する予定である。

尾澤議員 終活講座で、勉強をして、最期亡くなる時は、しっかりと整理をして逝かれるほうがいいかと思う。指導のほうをお願いしたい。

産業建設委員会による視察研修



萩しーまーとでの研修の様子

産業建設委員会では、平成30年11月26日～27日の日程で、山口県萩市にある「道の駅萩しーまーと」で、視察研修を行いました。この道の駅は、国土交通大臣から、地域を元気にできると、その活動が高く評価されており、全国で6カ所のうちのひとつに選定された「全国モデル道の駅」です。また、低価格の雑魚を加工品として商品化する「萩の地魚もったいないプロジェクト」を推進し、数々のヒット商品を生み出した等の説明を受けた後、意見交換を行いました。

次の日には、萩市役所を訪れました。萩市は、市内に7カ所の道の駅がある、西日本最多の自治体です。特色ある道の駅等について、商工政策部の課長から説明を受け、活発な意見交換を行いました。

議会運営委員会による視察研修



山口市環境センターの圧送設備の様子

議会運営委員会では、平成31年1月31日～2月1日の日程で、視察研修を行いました。

初めに、山口市環境センターでし尿処理施設の受入・前処理設備、圧送設備、脱臭設備等についての説明を受けた後、活発な意見交換をしました。

次に、長門市の浄化センターを訪れました。特殊土壌脱臭装置についての説明を受け、現地の視察を行いました。

文教厚生委員会による視察研修



あべのハルカスの地下施設の様子

文教厚生委員会では、平成31年2月14日～15日の日程で、あべのハルカスの環境取り組みについての視察研修を行いました。百貨店やホテルなどのレストラン厨房から出る生ゴミ等を使ってバイオガス発電を実施しています。バイオガス設備のメタン発酵槽は1日最大3トンの生ゴミを処理できます。ディスパーで粉砕した生ゴミをメタン発酵槽へ送り込みバイオガスを発生させ、熱や電気をつくる仕組みで、発電や給湯に利用します。これは高層ビルでは日本で初めての試みで、大規模の複合ビルだから実現できる先進のエネルギーシステムだと説明を受けた後、意見交換を行いました。

総務委員会による視察研修



地震体験の様子

総務委員会では、平成31年2月21日～22日の日程で、視察研修を行いました。

初めに、広島市総合防災センターでは、自主防災研修、子ども研修、事業研修、防災に関する法定講習などさまざまな防災研修を実施していました。今回は、防災講座や地震・降雨・消火・煙等の実践的な体験型の研修を行いました。

次に、三次市役所を訪れました。住民自治活動支援や地域振興活動支援について、地域振興課長から説明を受け、活発な意見交換を行いました。

豊前市区長会会長表敬訪問



「区の再編に関する意見書」の要望活動の様子

2月12日、熊原博幸豊前市区長会会長から議長あてに「区の再編に関する意見書」が提出されました。

この意見書は、昨年より区長会で区の再編委員会を立ち上げ、議論した内容をまとめたものです。

主な内容については、平成34年度まで区の再編の取り組みを継続するため、必要な支援を依頼するものです。

東松島市による表敬訪問



東松島市の地域おこし協力隊の表敬訪問の様子

地域振興及び地域活性化の未来にわたる持続・発展、並びに移住・定住を促進するために活動している「東松島市地域おこし協力隊」が豊前市を訪れました。

プロ選手による野球教室



豊前市野球教室の様子

昨年の12月26日に豊前スポーツ活性化推進委員会の主催で、18回目になる野球教室が開催されました。豊前市民球場で小中学生110人が、プロ野球選手(福岡ソフトバンクホークスの岩寄翔選手、嘉弥真新也選手、引退した城所龍磨選手、千葉ロッテマリーンズの細川亨選手)から守備やバッティングの技術などを学びました。

編集後記

3月は卒園、卒業、巣立つ子ども達又は社会へと飛び出す子ども達、人事異動で心安まる日もなく、4月は、入園、入学と心弾ませる季節でもあります。桜の花に始まり私達の目を癒やしてくれる花々に巡り合う季節がやってきました。

「議会を傍聴に行こう。」を立ち上げていただいたお蔭で、傍聴に来て下さる方が増えています。

議員にとって何よりの励みであり、執行部にとっては市民に向けた誠実な仕事への使命を再確認するものとなります。

今後、ますます議会傍聴へ参加していただけますようお願い申し上げます。

花冷えと重なり寒の戻りもありますので、健康にはくれぐれも留意して日々をお過ごし下さいますように祈念しております。

6月議場でお会い出来る日を楽しみに。

郡司掛 八千代

次回の定例会市議会は
6月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社